

なわちゅう

## 瞬中だより

四條畷市立四條畷中学校

令和8年1月7日(水)第12号

畷中校区の合言葉『みんなで「るるる」』

R7重点目標「みんな大事~『あたりまえ』にいいね!~」

きんがしんねん  
謹賀新年

2026年がスタートしました。今年は「十二支」で言うと「午年」。  
 これに火や水、陰、陽などの要素を表す「十干」を組み合わせると、  
 2026年は、60年に一度めぐってくる「丙午」の年です。「丙」とは火の要素で、  
 太陽や明るさを表し、「午」は駿足で力持ち、人間を助け、ともに生  
 きてきた動物であるため、情熱と行動力が高まり、大きな飛躍のチ  
 ャンスがある年と言われます。停滞していた物事が動き出し、新し  
 いことへの挑戦や関係の発展に適した年だそうです。春からの新し  
 いステージで、いろんなことにチャレンジして、一回り大きな人間に成長  
 する1年にしてほしいと願っています。

【午年】に起こった過去の出来事

2014年：消費税が5%から8%へ引き上げ、広島土砂災害、御岳山噴火

2002年：ユーロ流通開始、日韓ワールドカップ開催（日本初のベスト16）

1990年：東西ドイツ統一、バブル経済の絶頂期

にんげんばんじさいおうがうま  
人間万事塞翁が馬

これは、中国で書かれた「淮南子」に由来する故事で、「塞(砦)」  
 に住む「翁(老人)」の馬の話からきている教えです。

ある日、塞翁が飼っていた馬が逃げてしまったので、人々が慰めに行くと、塞翁  
 は「これは幸いになるだろう」と言いました。数ヶ月後、なんと、その逃げた馬は、  
 立派な駿馬(足の速い優れた馬)を連れて帰ってきたのです。

人々がお祝いに行くと、今度は、塞翁は「これは災いになるだろう」と言いました。  
 ある日、塞翁の息子が駿馬に乗っていると、馬から落ちて、足を骨折してしま  
 ったのです。

人々がお見舞いに行くと、次は、塞翁は「これは幸いになるだろう」と言いました。1年後、隣国との戦乱が起り、若者たちはほとんど戦死しましたが、塞翁の息子は足を骨折していたため、兵役を逃れ無事に過ごしました。



この故事は、「幸福」と思えることが、後に「不幸」となることもあります。またその逆もあるため、安易に喜んだり悲しんだりするべきではないというたとえです。人生は、良いことも悪い事も予測できず、幸せが不幸に、不幸が幸せにいつ転じるかわかりません。何がよくて何が悪いのか、後になってみないとわからない…なんてこともあります。

とにかく、日々を丁寧に、めの前のことを大切に過ごしていきたいですね。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、この3ヶ月は、あつという間に過ぎていくと思います。今年度のまとめをしっかりとして、4月からの新生活に向かいましょう。



3年生のみなさんは、ぼちぼち進路が決まり始めてきます。義務教育の集大成の3ヶ月。自分の夢を大事に、そして、いっしょに歩んできた仲間の夢も大事に丁寧に生活してくださいね。

### 3学期の主な行事

1月 7日	始業式
1月 9日	3年生 実力テスト
1月 14日	1・2年生 チャレンジテスト
1月 21日～23日	3年生 学年末テスト
1月 28日～30日	1年生 スキー林間
2月 10日	私立高校(大阪府)入試
2月 19・20日	公立高校特別選抜入試
2月 25日～27日	1・2年生 学年末テスト
3月 11日	公立高校一般入試
3月 13日	卒業式
3月 19日	公立高校一般入試合格発表
3月 24日	修了式

